


日よけ、水やり、雑草退治 ポトスを育てる・・・ ジンチョウゲのさし木		
2005年7月	文月(ふみづき)・七夜月(ななよづき)・七夕月(たなばたづき)・相月(そうげつ)・蘭月(らんげつ)・涼月(りょうげつ)・秋初月(あきはつき)	●暑さを防ぐ対策と秋花壇の準備
<p>●蒸し暑い日が続きます。草花もダメージを受けやすい時期です。</p> <p>●だからといって 水のやりすぎは禁物です。草花が快適にすごせる対策をたてましょう。</p>		
庭木の作業	・コニファーなどの常緑樹の植え替えと 整枝の時期。	
草花の作業	<p>・秋の花壇用の草花の種まきをしましょう。</p> <p>・日陰の場所などに移動させて、あまり水を与えないようにしましょう。</p>	

今月の誕生花	ユリ、ダリア、ジニア	
今月の花	スイレン	
	花言葉/心の純潔、清純、信仰	
	<p>スイレンは、生けるとき 花1、つぼみ1、巻き葉2、浮き葉2、立ち葉3・・・の組み合わせで使います。</p> <p>しかし、最近の熱帯スイレンは、もっと自由に使われます。</p>	
	<p>古代エジプトでは、スイレンは太陽のシンボルとして神聖視され、「信仰」の花言葉ができました。エジプトの装飾や神話の中で、この花の花冠からは、日の出の神ホルスが立ち上がる・・・ものとされています。</p>	
<p>ドイツでは、森のニンフは 人が近づくと スイレンに化け、通り過ぎると元にもどる・・・といわれ、スイレンの葉の下には 邪悪な木の魔物がいるので、花を取る前には 丁寧な呪文を唱え、花は必ず 刃物を使わずにとるように・・・と伝えられています。</p>		

ジンチョウゲのさし木

ジンチョウゲは、よく見かける香りのよい花木ですが、育てやすいようできて、古くなると必ず枯れる植木です。そこで、元気のようにうちにあとつぎの株を用意することが必要になります。さし木がしやすいので便利です。

1



さし木を成功させるには、よいさし枝を取ることが肝心です。元気のよい株の日のよく当たる場所の、春から伸びた若枝を間引きして取ればよいでしょう。

2



水揚げを1~2時間します。

3



切り口をくさび形に切りなおす

根元をよくおさえる

川砂、赤玉土などの用土に入れ、さし木します。用土は、肥料分や病菌をふくまないものに限りです。切り口が雑菌におかされないため、乾燥防止をかねて、赤土や鹿沼土などを練った土を、切り口に小さなダンゴ状につけると効果があります。さし枝は、全体の3分の1から4分の1を土中にまっすぐにさし、間隔は、葉がすこしふれあう程度とします。

4



通気穴

水は、鉢底から……

水を十分与えて、風が当たらない半日陰において、根付くのを待ちます。全体をビニール袋で包むようにすると、いっそう効果が上がります。